

平成 28 年度 第 3 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 平成 28 年 12 月 26 日（金）14 時～17 時 30 分

場所 電力中央研究所（大手町）7 階第 4 会議室

出席 大原利眞会長、近藤明副会長、畠山史郎副会長、伊豆田猛、大泉毅、内藤季和、中井里史、速水洋、松田和秀各常任理事

オブザーバ 秋山雅行第 57 回年回事務局長、島正之第 58 回年会年会長

議題

1. 会長報告

大原会長から、学会ホームページ及び学会誌 51(6)あおぞらに掲載したコンセプト「大気環境分野での社会との対話・共働の推進」を生かして、60 周年記念事業等の活動を行っていききたいこと、本日の重要議題は、年会の実施、財政の健全化、60 周年記念事業であることとの報告があった。

2. 第 57 回年会の総括と第 58 回年会の準備状況について

2.1 第 57 回年会の総括について

秋山雅行第 57 回年回事務局長から、年会の収支決算について報告があり、約 130 万円の利益が見込まれること、その理由として、会場運営等に係る委託費の圧縮、機器展収入の増加等があげられるとの説明があった。また、課題として、発表件数の減少、ポスター発表の比率が高まっているのでプログラム編成の対応が必要などの報告があった。

2.2 第 58 回年会の準備状況について

島正之第 58 回年会年会長から、第 1 回実行委員会の議事録、企画書、収支予算案、役員名簿について説明があった。会場運営等に係る委託先として 57 回年会と同じ会社を選定したこと、そのため同じ参加登録システムを使用できること、発表会場、総会会場については概ね決定しているが、ポスター会場が手狭であるため検討中であること等が報告された。また、プログラム集の小冊子については、学会誌に掲載されるので作成しないことが提案され、了承された。

また、委託費削減の方法として、運営に携わる委託先の人員については最低レベルで可能ではないかという秋山雅行第 57 回年回事務局長のサジェッションがあった。

なお、年会期間中に予定されている日中韓のシンポジウム開催については、特別集会の枠で開催することとし、企画、招聘等は本部が担当することとした。

3 財務状況および今後の取り組みについて

中井財務担当理事から、前回議事録にあるように、(1) 学会誌の電子ジャーナル化、(2) 事務局機能移転について、60 周年を目的に検討を進めていることが報告された。また、広告代理店

との契約の見直しをできるだけ速やかに行うこと、バナー広告募集を積極的に進めること等について報告があり、了承された。なお、賛助会員に対して、バナー広告掲載の依頼状を出すことにした。

4 60周年記念事業について

伊豆田担当理事から、60周年記念事業の概要について説明があり、①募金、②国際シンポジウム、③産官学民連携セミナー、④学会誌60周年記念ページの作成、⑤大気環境の事典、⑥その他（出前講座）、⑦記念事業委員会等について、検討している旨の報告があった。

- ・会長から、募金活動については、重点的に取り組む必要があるので、趣意書の作成（目的、目標金額等）、募金委員会の設置が提案され、本日の議論をもとに、活動内容の骨子案を近藤副会長が作成することとした。なお、議論において、基金を設けてはどうか、若手育成を柱にしてはどうか、募金者のメリットも考えるべきではないか、といった意見が出された。

- ・産官学民連携セミナーは、東京オリンピックに関連したテーマを中心に、産官学民連絡協議会において検討する。

- ・国際シンポジウムについては、国際交流委員会を中心に、予算や招聘人数等について、今後検討する。

- ・出前講座の支部との共催の可能性等について支部長会議等の場で検討する。

- ・記念事業委員会の委員には民間からも参画して頂く。

5 内閣府の立入検査について

事務局から、内閣府による立入検査の日程及び内容が説明され、会長及び中井理事が対応することとした。（なお、日程については、常任理事会終了後、内閣府から連絡があり、平成29年3月14日に実施されることになった。）

6 選挙管理委員長の選任について

会長から、国立環境研究所の新田裕史理事に依頼することとしたいという提案があり、了承された。

7 学会賞の公募について

学会賞の公募について、学会誌第52巻第2号（平成29年3月10日発行）に掲載することが提案され、了承された。

一旦推薦された学会賞については、選考委員会の場において他の分類の賞に変更する（学術賞→功労賞のような）ことはしないことが確認された。選考委員会では推薦された分類での授賞の可否のみを決定する。

8 環境省との意見交換会について

会長から、意見交換会において説明する内容として、新体制の紹介及びコンセプト、環境省と関係する学会の活動内容、今後の連携についての提案等について説明があり、了承された。（常任理事会終了、環境省との意見交換会が水・大気環境局長室で開催された。）

9 内閣府への事業報告等について

事務局から、平成 27 年度事業報告及び決算報告の内容について、内閣府からの指摘事項への対応（決算数値の修正）、確認事項（財政悪化の原因と対応策の検討状況等）への対応について説明され、了承された。

10. 広報委員会報告

平成 29 年 5 月 23 日に開催される環境工学連合講演会講演会に、藤谷雄二氏（NIES、H28 年度大気環境学会賞受賞者）が発表すること、同講演会の運営形態が変更となったことが報告された。

11. 編集委員会報告

速水編集委員長から、訂正記事への対応、環境行政情報の提供、電子ジャーナル化の検討、入門講座・解説の冊子化、新企画に関する報告があり、了承された。

12. 総務担当報告

学会誌「支部だより」及び「分科会・研究会だより」の募集・編集を行ったことが報告された。

13. 次回常任理事会日程について

今回は、平成 29 年 5 月連休明けに開催を予定することとした。但し、学会誌の電子ジャーナル化や事務局機能移転の検討の進捗等に応じて、3 月末頃に開催する可能性もある。

(以上)

資料（リストのみ掲載）

- ① 平成 28 年度 第 2 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨
- ② 第 57 回大気環境学会年会収支計算書
- ③ 第 57 回大気環境学会年会報告（メモ）
- ④ 第 58 回大気環境学会年会 第 1 回実行委員会 議事録メモ
- ⑤ 第 58 回大気環境学会年会 企画書
- ⑥ 第 58 回大気環境学会年会 収支予算(案)
- ⑦ 第 58 回大気環境学会年会役員名簿
- ⑧ 大気環境学会 60 周年記念事業の活動計画の概要
- ⑨ 募金及び連携セミナーの素案
- ⑩ 内閣府の立入検査について

- ⑪ 内閣府指摘事項への対応結果について
- ⑫ 大気環境学会賞受賞候補者の公募について
- ⑬ 環境省との意見交換会メモ
- ⑭ 担当活動報告（総務担当、広報委員会）
- ⑮ 編集委員会報告

